

「人の一生を支援する」事業を支える
GeneXus活用による基幹システム構築事例

2026/02/05@GeneXus Day 2026

株式会社京進 情報システム部
執行役員 部長 山本宗孝



KYOSHIN group

- 1 京進グループについて（会社概要・事業展開）
- 2 GeneXus採用の背景（課題→採用理由→メリット）
- 3 開発実績と主要システム紹介（7システム）
- 4 具体的な活用効果とまとめ



ステキな大人が増える未来をつくる



株式会社 京進

5th
KYOSHIN group

おかげさまで京進グループは50周年を迎えます

商号	株式会社京進（英語名 KYOSHIN CO., LTD.）
本社所在地	〒600-8177 京都府京都市下京区烏丸通五条下る大坂町382-1
設立	1981年4月2日（創業：1975年6月）
資本金	327,893千円
決算月	5月末
従業員数	2,125名（連結） ※2024年5月末時点
売上高	260億9949万円 ※2024年5月末時点
主要株主名	TCKホールディングス 京進社員持株会
主要取引銀行	三菱UFJ銀行 京都銀行 みずほ銀行 りそな銀行
上場証券取引所	東京証券取引所スタンダード（4735）

2024.05.31 時点



導入前の課題



スクラッチ開発では
SE確保・育成が困難



ノーコードでは
基幹要件にフィットせず



目指す姿



事業スピードに
同期する開発力



変化に強い構造と
コストコントロール





契約形態の変革



成果物に自社責任を持つ前提で
パートナーとは準委任契約にシフト



開発予算からサポート契約予算への
置き換えで柔軟性向上



柔軟な運用



案件の優先順位付けを
自社主導で迅速に変更可能



スピードが要るものは速く、
腰を据えるものは計画的に——
メリハリ運用を実現



技術的メリット



より上流工程（要件定義・データ設計・業務設計）に集中できる



開発言語やプラットフォームを意識せず設計ドリブンで進められる



実装メリット



自動生成により標準化と保守性が担保される



アーキテクチャ変更耐性（将来の基盤刷新への適応力）

開発実績一覧（規模・期間・構成）

システム名	GXステップ	Javaステップ	TBL数	開発期間	主要機能
ローマE（従業員情報一元管理）	520,891	3,865,597	73	2019/10～	従業員情報管理、発令情報管理、組織情報管理
ローマC（顧客情報一元管理）	132,793	1,656,199	55	2021/03～	顧客情報管理、顧客契約情報管理（共通・業態固有）
ローマM（汎用マスタ管理）	37,865	617,396	23	2022/04～	汎用マスタ管理（グループ横断の標準化）
人事ツール（評価・育成）	145,489	1,788,297	46	2020/05～ 2023/07	自己申告書、目標管理&達成評価、成長コンピテンシー評価
日報・声の蓄積	114,928	1,455,100	49	2021/10～ 2023/02	日報情報管理、従業員・顧客からの声を一元管理
合否管理システム	87,457	1,074,038	21	2020/02～ 2021/11	学習塾事業の合否情報管理
KSN-U（契約・請求・入金・売上管理）	68,811	1,050,903	38	2024/06～ （構築中）	請求・入金情報銀行連携、入金消込、売上計上

表内の数値は2025年12月現在数です

GXステップ数

520,891

Javaステップ数

3,865,597

テーブル数

73テーブル

≡ 主要機能



従業員情報管理



発令情報管理



組織情報管理

📅 開発期間

2019年10月～継続開発・運用中



運用ポイント

各システムID・人事施策に直結するデータ基盤として横断活用。

人事給与・勤怠管理のSaaSとAPI連携し、人事マスタの正規化と履歴管理、異動・発令のトラッキングを実現。

AD・IDMへも日々連携し、多くの導入システムのID基盤として稼働しており、アカウント運用工数を大幅に削減。

システム紹介②：ローマC（顧客情報一元管理）＋ローマM（汎用マスタ管理）

GXステップ数

132,793

Javaステップ数

1,656,199

テーブル数

55テーブル

主要機能

 顧客情報管理

 顧客契約情報管理

 共通情報・業態固有情報管理

開発期間

2021年3月～ 継続開発・運用中



運用ポイント

グループ全体の顧客情報を名寄せ・統合し、ユニークなIDで一元管理を実現。

契約情報と顧客属性を紐づけ、生涯学習事業として幼少期から社会人までの受講履歴を横断的に把握可能に。

新規事業展開時も共通の顧客基盤を即座に活用できる体制を構築。

 参考：ローマM（汎用マスタ管理） 2022年4月～

GXステップ: 37,865 Javaステップ: 617,396 テーブル: 23

 汎用マスタ管理（グループ横断の標準化）

GXステップ数

145,489

Javaステップ数

1,788,297

テーブル数

46テーブル

≡ 主要機能

📄 自己申告書

🎯 目標管理&達成評価

📈 成長コンピテンシー評価

💬 社員面談

📅 開発期間

2020年5月～2023年7月 運用中



運用ポイント

評価プロセスの透過性とデータ蓄積、組織開発の可視化を実現。

自己申告から評価、面談までのプロセスを一元管理し、公正な評価と人材育成を支援する基盤として全社で稼働中。

GXステップ数

114,928

Javaステップ数

1,455,100

テーブル数

49テーブル

≡ 主要機能

📢 従業員・顧客の声収集

📝 日報一元管理・共有

📊 現場インサイト分析

📅 開発期間

2021年10月～2023年02月 運用中



運用実績 (2024/12/4時点)

日報件数 362,060件

従業員・お客様の声 131,955件

現場インサイトを全社共有し、教育サービスの質的向上に貢献

GXステップ数

68,811

Javaステップ数

1,050,903

テーブル数

38テーブル

≡ 主要機能

🏦 請求・入金の銀行連携

💵 入金消込

📈 売上計上

📅 開発期間

2024年6月～ 構築中



導入の狙い

グループ横断の収益管理と契約一貫性の確保、財務スピード向上



戦略適合

全社戦略に合わせて独自性の高い
業務を迅速にシステム化



品質と納期

品質は過不足なく
納期優先で価値の早期提供



コスト統制

内製主導＋準委任サポートで
予算の柔軟化

1 内製化戦略 × GeneXus : 経営戦略に沿った新基幹構築のスピードと柔軟性を両立

2 ビジネス面 : 優先順位の即応・予算の弾力化・成果責任の明確化

3 技術面 : 上流集中・プラットフォーム非依存・標準化と保守性を実現

4 次の一步 : KSN-Uの完成と、データドリブン経営への展開

ご清聴ありがとうございました